2025(令和 7 年度)

令和 6 年度（補正予算）WAM 助成　事業報告書

NPO 法人こどもステーション

「DV 被害母子・ひとり親家庭と子ども・若者のための生きる力応援」事業

事業の概要

　生活に困窮するひとり親家庭(主に子どものいるシングルマザー家庭・親子）や不登校・ひきこもり状態にある子どもやその親に対して、必要な情報を届け、繋がることでエンパワメントすることを目的に、ジェンダーの視点と DV 被害者支援の力を持つ私たちの強みを生かして、支援の網を細かく広く広げ、居住支援、食品支援や居場所支援、就労相談、生活援助、カウンセリング、相談支援・同行支援・訪問支援、託児を届ける事業

事業の大きな 4 つの柱

1. 【安全・自立】DV 被害母子の緊急保護と住居確保支援

　シェルターでの安全確保から、不動産同行、新生活のセットアップまで。「命を守り、明日をつくる」柱です。

2. 【安心・生存】物価高騰下での食料支援と生活基盤の整備

　フードドライブや「もこちゃんパック」。単なる配分ではなく、お米一粒から「地域と繋がっている安心感」を届ける柱です。

3. 【権利・未来】不登校・ひきこもりの子どもへのアドボケイト

　不登校の子どもや親の居場所づくり。「子どもの声を社会に届け、未来の選択肢を広げる」柱です。

4. 【回復・伴走】アウトリーチ「てごうし隊」による全人的な家庭支援

　居宅に入っての生活援助やカウンセリング、トラウマインフォームドケアに即した託児、「家庭を丸ごと包み込み、心の回復を支える」相談支援。最も深い柱です。

「本事業は、『安全・自立』『安心・生存』『権利・未来』『回復・伴走』という 4 つの柱を軸に展開いたしました。

　DV 被害からの脱却から、ひとり親家庭の日々の食料支援、そして家庭に深く入り込むアウトリーチまで、これらが有機的に連携することで、困難を抱える母子が孤立することなく、再び自分の足で歩み出すための『多層的なセーフティネット』を構築することができました。

柱 1．DV 被害母子の相談と住居確保・自立支援事業

【①実施した事業の状況：成果】 緊密な連携と信頼関係の構築により、DV 被害母子の安全確保から新生活のスタートまで、切れ目のない包括的支援を実現しました。 シェルター入居前から丁寧に面談を重ね、入居後も被害による心理的ダメージが深い母子に対し、延べ 153 人のスタッフを投入して同行支援や託児を伴うケアを継続しました。単なる「場所の提供」に留まらず、家裁、行政、弁護士、不動産等への同行を通して一つひとつのハードルを共に乗り越え、最終的には本人の意思が最大限に尊重された形での住居確保と自立へと繋げることができました。

【②活動日数】

- **回数：** 入居日数 合計 51 日 ／ 支援回数 合計 54 回

【③延べ人数・実人数】

- **延べ人数：** 153 人
- **実人数：** 6 人

困難を抱える母子に対し、必要が生じた際に即座かつ集中的なリソース投入を行いました。同行支援の際に、チャイルド・アドボカシー（子どもの権利擁護）を基盤とした託児を並行したことで、お母様が自身の将来や手続きに集中できる環境を整え、お子様への二次的な不安も軽減できました。「本人の意思を徹底的に尊重する」という支援方針を貫いたことで、入居者が納得感を持って自立へと踏み出せたことは、本事業の大きな成果です。

私は、夫のモラハラや暴力がひどく、何年も耐えていました。家族にも友人にもすべてを打ち明けることができず一人で悩み続けました。DV の相談ができる＃8008を見つけ、ようやく相談につながることができ、そこで情報をもらい、イコール福山から紹介してもらったのが、こどもステーションでした。

私には収入が 1 円もなく、小さな子どもを抱えて、家を出て生活していくなんてことは到底考えられませんでした。だから、何を言われても、暴力を振るわれても、『夫の稼ぎが無ければ私も子どもも生活していけないから我慢しなきゃ』と考えていました。でも、耐えきれなくなり、夫のいないときに泣き泣き電話すると、夜に駆けつけてくださいました。2 人のスタッフさんがもこルームで待っていてくれて、子どもたちを見守ってくれました。そして、私の話を親身になって聞いてくれて、心がすごく軽くなったのを覚えています。その時からずっと、私の意見をいつでも尊重してくださり、今後どうしていくのが幸せか、一緒になって考えてくださいました。

一人では何をどこから始めたらいいのかわからないことも、市役所・裁判所・児相などにも一緒に同伴してくださり、子どもの託児もして下さって、本当に助かりました。子どもが誕生日の日にみんなでお祝いをして下さり、その夜、夢の中で嬉しそうに大笑いしているのを見て、私はシェルターに避難して本当に良かったと思いました。

もう子どもが夜中に大泣きしだすことはありません。私も子どもたちも、今、幸せです。あの時相談できて、ほんとによかった。私もだれかの幸せにつながる生き方をしたいと改めて感じました。（利用者の声をプライバシーに配慮して編集）

柱３．ひとり親家庭支援事業

【①実施した事業の状況：成果】 食料支援を入口として生活困窮下にあるひとり親家庭と繋がり、孤立を防ぐとともに、親のエンパワメントと子どもの健やかな成長を包括的に支援しました。 継続的なフードドライブの拡充により、物価高騰に苦しむ世帯へ直接的な安心を届けるとともに、居場所事業（子ども食堂・カフェ・フェスタ）を通じて当事者同士のネットワークを構築。さらに、FP 相談等の専門的支援を組み合わせることで、家計の安定から就労、子どもの進学支援まで、生活の質の向上に直結する成果を上げることができました。

【②活動実施日時・場所・回数】

- **日時：** 通年（食品受付、月例発送、メルマガ発行等）、および各月開催のイベント・相談会
- **場所：** 法人事務所「もこルーム」、神石高原ティアガルテン、神辺市民交流センター、JA 福山カメリア本館、他
- **回数：** 合計 165 回

【③対象者・延べ人数・実人数】

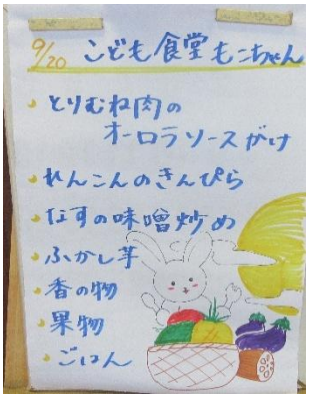
- **対象者：** ひとり親家庭（母子・父子）
- **延べ人数 / 実人数：** （1）食品提供：545 世帯 / 197 世帯（2）子ども食堂：474 人 / 44 世帯（3）カフェ・フェスタ：478 人 / 190 人（4）FP 相談：7 人 / 4 人（5）情報発信：6,458 件 / 418 世帯

長引く物価高騰とコメ不足の影響を受け、食料支援（もこちゃんパック）への申込が当初の想定（40 世帯分）を大幅に上回りましたが、地元スーパー等との長年の信頼関係を活かした独自の調達ルートにより、発送数を増やして対応しました。この迅速な対応が、困窮家庭のセーフティネットとして機能しました。 体験活動では、日曜日開催の「いちご狩り」に当事者の呼びかけで新規参加者が増え、学生ボランティアとの交流も生まれるなど、多世代が関わる豊かな居場所となりました。 また、専門家による家計・教育費相談が、相談者の働き方の具体的なイメージに繋がり、実際の就労（自立）へと結びついたことは、本事業における「エンパワメント」の象徴的な成果です。地域の他団体との連携による映画上映会も実現し、支援の網を地域全体へと広げることができました。

送っていただき、ありがとうございました。持病が悪化し鬱状態になり、体調を崩し熱も出て、いつもお世話になっている近所の NPO 法人に顔を出せなくなった関係で食料支援も途絶え…。自分で食事の用意もできない状態でした。そんな中、もこちゃんパックが届いた時には本当に涙が出て、これで大丈夫、大丈夫と安心しました。ご支援ご協力いただいた皆様、本当に感謝致します。

子供達も届いてすぐ、開けよう！開けよう！と、いつもワクワクしながら開けています。値段が高くて買うことを諦めた品や子供のおやつが入っていてとても助かります！お給料が入っても赤字続きでいつも苦しいですが、もう少し頑張ろう！と、いつも勇気をもらいます。ありがとうございました。

お弁当の中の一つ一つ美味しかったです！作ってくれている人の愛情を感じました。お米もとても美味しかったです！子供も大満足でペロリと食べました！少しお友達とも遊べて楽しかったようで、また来たい！と言っていました。ありがとうございました。



お弁当と一緒に頂いた銀杏の話で盛り上がりました。茶碗蒸しの銀杏は食べないのですが、塩コショウでシンプルに食べるのが楽しくて美味しかった様です。

ズッキーニを食べたことがなく、これは何かと興味深々でした。かじって少し癖のある味にゴウヤじゃないかと大騒ぎ😛楽しい食事の時間でした。

子どもと一緒にわくわくソワソワしながら伺いました。見た目もキレイで、豪華なお弁当で幸せな気分になりました。子どもと一緒に「おいしいねー」「おいしいね」と何回言ったか分かりません。美味しくて幸せな気持ちになりました。本当にありがとうございます。お腹も心も満たされました。

「何時から作ってくれたんかなぁ？」「食堂の中はどんな所かなぁ？」…など子どもから沢山の質問がありました。写真付きのメニュー表を見ながら食べました。

しんぐるまざぁずカフェ・フェスタの年間スケジュール

月	日	
4	26	★アウトドア「いちご狩り」
5	10	避難訓練　と　おしゃべり会／消防車が来るよ!!
6	14	かんたんクッキング（サンドイッチ）／一緒に食べよう!!
7	12	ミニ講座「ひとり親家庭支援施策」について
9	23	ミニ講座「フラワーアートでコサージュ作り」
10	25	★アウトドア「バーベキュー会」
11	8	離婚前後の親支援講座／同時開催・離婚に関する子ども法教育
12	13	★クリスマス会
1	10	おしゃべり会
2	21	しんぐるまざぁずフェスタ
3	15	★日曜日の「いちご狩り」

おしゃべり出来て楽しかったです。避難訓練は子供と一緒に防災について学んだり消化器の使い方など実践出来て良かったです。

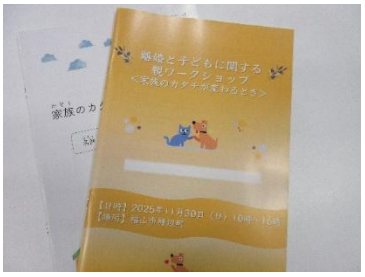
子育てをしているとゆっくりお茶を飲む時間もなく慌ただしくしていますが、他のママさんとおしゃべりしながら情報交換やお話を聞いていただけるのは本当にありがたいです。

ひとり親同士で話せるのは気楽で落ち着きます。子どもも周りにひとり親が少ないので、もしそういった会話になった時に自分の家族だけ違うという疑問もここでは少し減るのかと思います。

バーベキューなんてする事ないので何日も前から親子で楽しみにしてました。お肉も普段食べれない高級お肉でとっても美味しいかったです。何年振りにあんなに美味しいお肉を食べれて幸せでした。食材も豊富で大満足でした。日頃贅沢できず頑張ってきたご褒美になりました。子供達も遠慮する事なく美味しそうに食べてる姿が見れて参加出来て良かったと思いました。子供達もお肉柔らかくて美味しいかった。産まれて初めてあんな美味しいお肉食べたー。楽しかったし大満足。っと帰り道久々に幸せそうな笑顔が見れました。もっと他のお母さん達とも仲良くなりたいなーって思いましたが人見知りでお話しする事も出来ず。でもみんなでワイワイしながらひと時を過ごすってなんかいいですね。とっても楽しく今までにないバーベキューでした。日々大変な事ばかりですがまた頑張ろうと思います。ほんとにありがとうございました。お土産のりんごに柿とっても美味しかったです。

一人一人に十分な量の食材と、みんなが楽しめるように色々考えて下さったことが、とても嬉しかったです！楽しく美味しくて大満足でした！ありがとうございました！

この様な有意義なイベントを継続してされていると知り大変驚きと共に、この離婚というイベントは新たな変化への順応性を多く求められていく中で、同じ様に直面していく方々の道標になるに違いないです。感謝しかありません。ありがとうございます。



母親のもつ責任を分自身も無意識に背負っていることに気づくことができました。離婚を色で例えることや、参加者と話できたことで、離婚はネガティブにとらわれがちだが、「幸せの選択をしたのだ」と、私自身にも子どもにも感じれるような過ごしかたをしたいと思うきっかけをもらいました。

このような機会を与えてくれて、子供たちにとってとても楽しい時間が過ごせました。私はアパート暮らしなので、地域や子ども会などに入ることもないので、このようなイベントも参加する事がなかったので、本当に感謝です！サンタさんにも会えたし、プレゼントも沢山貰えたり、少し早いですが楽しいクリスマスになりました。ありがとうございます。また来年もあれば是非参加したいです！

初めて参加させてもらいましたが、歌を歌ったり楽器をしたり、マジックショーやプレゼントなど、全部が楽しく子供もとても楽しめたみたいで良かったです！

みなさん優しくいつも笑顔で迎えて下さり嬉しいです！いつも楽しい企画を考えて下さりありがとうございます！毎回感謝の気持ちでいっぱいです！子供が前回の時に友達になったこが来ていて嬉しそうでした。手品もお手伝いが出来て楽しかった！と言っていました。サンタさんもプレゼントをありがとうございました！またお会い出来るのを楽しみにがんばります！！

重くつらくしんどい現実を描いた映画でした。でも、トークがあってとても良かったです、救われました。参加した方たちの感想を伺い、受け止め方も様々あるなぁと思いました。それぞれの感想を伺うことができてとても良かったです。

いつも感じていることですが、人権に配慮された運営、参加者の心持ちに配慮された運営をありがとうございます。参加してよかったと思える時間になりました。

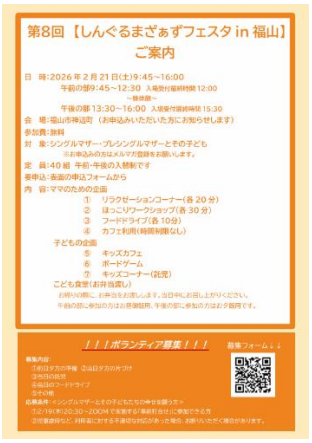
おもいを言葉にする大切さ、現状を伝え啓発する大切さを改めて感じたトークタイムでした。

子どもたちがワクワクして、自分で食べたいいちごを選びほおばる姿がたまりませんでした！普段安い時にいちごを買い、子どもの好きなだけ食べることはなく私が何個と決めたりしているので、食べたいだけ食べさせてもらえて感謝です！！そして、どのご家族も楽しそうでした！

この物価高で、スーパーで苺を見つけた子どもに買ってほしいと言われても買えずにいました。安くならないか毎回見てはため息が出ていました。たまに目玉商品で安く手に入ったときは、子どもに少しでも食べてもらいたくて、自分はほとんど食べずに過ごしていたので、今日は心おきなく子どもと同じように美味しいねと食べれたことと、一緒に選んで採る作業もできたこと、親にとっても初めてのいちご狩りを親子で楽しめて、とても良い思い出になりました。

美味しいいちごを食べられたこともですが、子どもが喜んでる姿が一番嬉しかったです。いつも時間に追われて、ストレスを感じているのですが、自然の中で非日常を体験できてリフレッシュもできました。

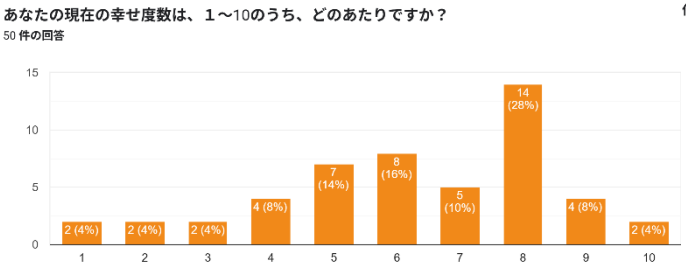
2025 年度　令和 6 年(補正予算)WAM　助成事業

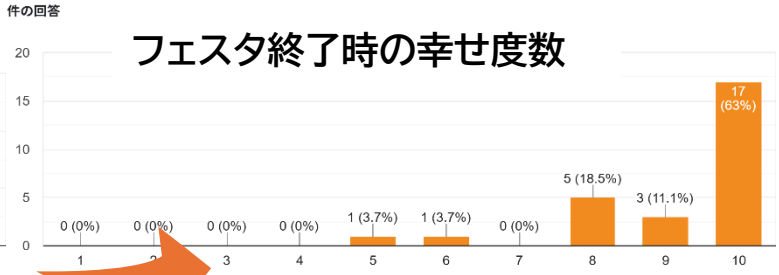


子育てをしている中で、人との繋がりを感じられず、寂しさを感じることがあります。日常で声をかけてくれる人も少ないなか、今回のフェスタでは沢山の方々が私はもちろん、子どもにも声をかけ、寄り添ってくださったのでとても嬉しかったです。元気づけられました。今回のフェスタを開催してくださった方、ボランティアの方、寄付をしてくださった方、関係してくださった方々、本当にありがとうございました。大変な日々は続きますが、また頑張っていこうと思えました。

全部すごく楽しかったですし、ゆっくりできて、フードドライブも最高でした！持ち帰りのお弁当も豪華でびっくりでした！子連れだと、ハードルの高いリラクゼーションやワークショップは毎回嬉しいです！スタッフの方の気遣いがみんなあたたかくて嬉しいです！

たくさんの事前準備や会場設営、時間通りの運営などなど本当にありがとうございます！参加者を主役にさせてくださり安心してリフレッシュできる時間を作ってくださり感謝しています。普段色んなことでピリピリした時間があるなかで、幸せだなーと感じることができました！つながりに感謝しています！





とても楽しくボードゲームをしていました。複数人で行う遊びの機会がなかなか無いので、これを目当てに今回のイベントにきたと言っても良いくらい前日より楽しみにしていました。

あまり預けることがなく、慣れない環境ということもあり、子どもの反応が心配でしたが、泣くことなく楽しめたようです。そのことが一番嬉しかったです。しっかりと子どもと関わってくれたスタッフさん達のおかげです。本当にありがとうございました。

普段は弟たちのお世話をしてくれることが多く、今日は自分のやりたい事を優先出来て良かったなと感じています。フォローしてくれたお兄さんお姉さんありがとうございました。

お疲れさまでした。メニューを教えてくれて、注文を聞いて、運んで、片づけと、懸命に動いてる姿に元気をもらいました。ありがとうございました。

子ども服を持ち帰らせてもらいました。どんな子が着てたのかなーと想いながら選ぶのが楽しかったです！大事にたくさん着たいと思います。

子供達が店員さんになってとっても可愛いかったです。凄く癒されました。ほっと落ち着ける場所でした。子供さんが運んできてくれた紅茶は一段と美味しかったです。ありがとうございました。

アウターや子供服から日用品、文房具までほんとにたくさんのものをいただいて帰りました。ありがたい限りです。特に自分のアウターは何年も着続けているものを使っていて、新しいの欲しいと思いつつ買うのをためらっていたので、本当に嬉しいです！

小さい子たちが頑張ってお手伝いをしていて久しぶりに優しい気持ちになれた気がします。癒されました。ありがとうございました。やっぱり小さな子供は癒しを与えてくれるんだなぁと思いました。

さまざまな食材が用意してあり、感動しました。値段を考える事なく買い物したような感じに満足感で一杯です。スタッフの方が優しく明るく声をかけてくれて嬉しかったです。

いろんなアロマに出会えてすごく癒され、組み合わせで様々な香りに変化するのも楽しかったです。しばらく香りを楽しむことを忘れていたと思います。家に帰って、寝るときに子どもに付けてあげると喜んでいました。(アロマ参加者)

色んな苔の種類があるのにもビックリしました。無心でやっていたら、あっという間に時間が過ぎてました。素敵なのができて、嬉しかったです。

(苔テラリウム参加者)

箱に台車と準備していただき、補助もしていただきながらたくさん持ち帰らせていただき感謝していま

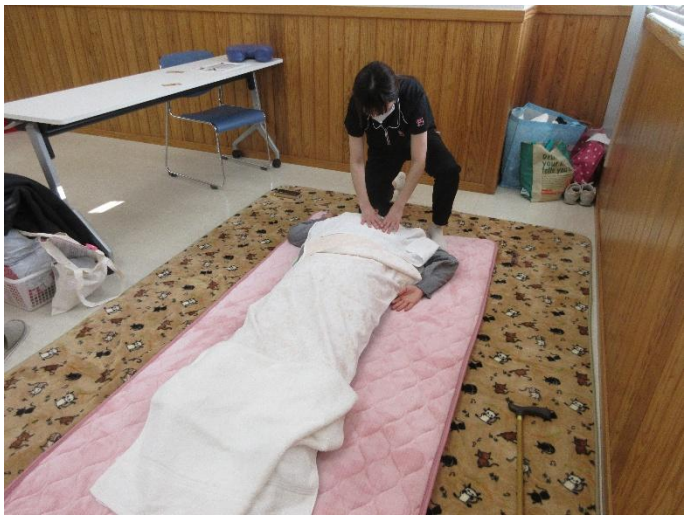
時間がかからずすぐにできて、良いものが作れました。さっそく家に飾ってます。見るたびに癒されてます。

(ハーバリウム参加者)

自分の不調な部分がわかり、ほぐして貰ってすっきり、ぽかぽかでリラックス出来ました。一番痛い所に可愛い耳ツボジュエリーを着けて貰えて、すごく嬉しかったです！お気に入りです！またお店にも行かせて貰いたいです。その為にがんばります！ありがとうございました。

びっくりするくらい身体と頭が軽くなり、本当に感謝しています。また、ヘッドスパをお願いしたいです！

疲れると体が右に傾いて歩いていたの理由が分かった事がよかったです。マッサージは自分でメンテナンスできない所もほぐしていただき気持ち良かったです。あと起床時に筋肉を緩める運動を教えていただき実践してみようと思います。



背面を時間かけてやってもらえて、やっぱり体は疲れてるんだなと実感しました。ほぐしてもらえて痛気持ちいいええ加減でやってもらえてリラックスできたし凄く満足です！こりほぐしをやってもらえて良かったです。

このイベントに来れて本当に良かったです。なかなか子供を預けて自分の時間を使うことはないし、ましてや自分に遊びのお金をかける余裕がないので、このイベントで少しの時間でも楽しめて本当に良かったと思います。リフレッシュできました！また沢山のお土産とお弁当を頂き、お弁当はとても豪華でビックリしました！お留守番してる子供も喜んで美味しく頂きました。本当にありがとうございます。運営された方、ボランティアの方、関わってくれてる全ての方に感謝です。物価高が続き、苦しい日々が続きますが、このイベントに来れて、また明日から頑張ろうと言う気持ちになりました！来年も引き続き開催、参加出来たら嬉しいです。ありがとうございました！

柱４．子ども・若者支援事業（案）

【①実施した事業の状況：成果】 不登校・ひきこもり状態にある子ども・若者とその保護者に対し、ピアサポート（親の会）と居場所提供の両面からアプローチし、孤独感の解消と自己肯定感の向上を図りました。 特に関係機関との連携を強化し、学校への出席扱いの実現や、地域の支援者間でのノウハウ共有を行うことで、個別の課題解決から地域全体の支援体制の底上げまで、多層的な成果を上げることができました。

【②活動実施日時・場所・回数】

- **日時：** 毎月定例開催（親の会、子どもの会）、学校訪問・相談、および 1 月の講演会実施
- **場所：** 法人事務所「ハートラボ」、かんがるー塾、福山市生涯学習プラザ等
- **回数：** 合計 32 回（親の会 12 回、子ども・若者の会 13 回、不登校の子ども相談 6 回、講演会 1 回）

【③対象者・延べ人数・実人数】

- **対象者：** 不登校・ひきこもりの子ども・若者とその保護者、一般市民、支援関係者
- **延べ人数 / 実人数：** （1）親の会：35 人 / 10 人（2）子ども・若者の会：26 人 / 6 人（3）アドボケイト・相談：14 人 / 3 人（4）講演会：85 人 / 85 人

本事業の大きな成果として、子ども・若者の会「もこもこ」に参加していた中学生について、当法人の関わりにより学校側との調整が成立し、「出席扱い」として認められた事例が挙げられます。これは子どもの権利を尊重するアドボケイトの重要性を示す具体的な成功例となりました。 また、1 月に開催した講演会では地域の不登校支援グループと連携したことで、団体間の横の繋がりが強化されました。講演内容を YouTube 動画としてアーカイブ化し、福山市内の「子どもの居場所運営者」と共有する計画もできています。地域全体の支援の質の向上に寄与できることも重要な成果です。 この活動を通じて、放課後等デイサービスや一般の方からの問い合わせが増加しており、不登校支援を核とした「地域の相談窓口」としての信頼が着実に高まっていると確信しています。

≪子どもの人権講演会参加者アンケートより≫

・不登校は子どもや家庭のレベルではなく、社会問題だと理解しました。福山にも日本全体でも今日の話を共有して時代を変えて行きたい。

・公的なフリースクールがあるから他のフリースクールへの補助金を出さない。のではなく、民間のフリースクールの事もしっかり知り、必要な場所の 1 つだと認識してくださる方が沢山増えて街全体で色々な学びの形があって良い。という考えが市民の心に広まって欲しい。

・不登校の子どもたちを変えようとするのではなく、大人が価値観を変えて温かい眼差しを持って子どもに寄り添って行くことが、小さなチャレンジへ挑戦する勇気になるという話が本当に素晴らしかったです。福山市にもたくさんの選択肢ができたら嬉しいなあと思います。不登校の息子がいますが、これからも温かい眼差しを持って寄り添っていこうと思います。

・不登校に焦点を当てるのではなく、子どもの想いを中心に大切に、守り育てていくスタンスの居場所づくりの話でよかった。ただ場所があればよいのではないことに改めて思いを強くしました。

・水取さんの講演で希望を感じました。不登校の孫が希望をもって生きていけるよう、見守りたいと思います。

柱 6．相談・アドボケイト事業

【①実施した事業の状況：成果】生活困窮、不登校、DV 被害など、複合的な課題を抱える家庭に対し、相談・カウンセリングからアウトリーチ、生活援助までを一体的に提供し、自立への伴走支援を行いました。特に、当事者の居宅に直接入る「整理収納・家計管理・食事づくり支援」やアウトリーチ「てごうし隊」を通じて、従来の相談窓口では捉えきれない家族全体の課題を可視化し、解決を図りました。専門的な託児支援を併用することで、母子がそれぞれの回復に集中できる環境を整え、家庭全体のエンパワメントを強力に推進しました。

【②活動実施日時・場所・回数】

日時： 通年、および隔週の水曜午後（アウトリーチ）

場所： 法人事務所「ハートラボ」、カウンセリングルーム「ここ」、受益者宅、行政機関、SNS 等

回数： 合計 251 回

【③対象者・延べ人数・実人数】

対象者： 生活困窮家庭、ひとり親家庭、DV 被害者等

延べ人数 / 実人数：

(1) 相談・同行・アウトリーチ：238 人 / 98 人

(2) カウンセリング：32 人 / 8 人

(4) 生活支援：35 人 / 19 人

(5) 託児支援：20 人 / 15 人

(6) アウトリーチ（てごうし隊）：374 人（139 世帯） / 60 世帯

2 年間継続している「てごうし隊」の活動により、地域に細やかな支援の網を広げることができました。訪問をきっかけに構築された「小さな信頼関係」が、その後のカウンセリングや専門的支援へと繋がる重要な入口となっています。

特に、居宅内での整理収納や食事支援は、家族を丸ごと支援する上で極めて有効であり、生活環境の改善が子どもたちの表情や行動に劇的な変化をもたらす様子を確認できました。

また、当法人の強みである「母子を適切に分離した専門的託児」を伴う相談体制は、トラウマインフォームドケアの観点からも極めて重要です。お母様が安心して自身の課題に向き合える環境を提供したことで、相談後に表情が明るく変化する様子が多く見られ、スタッフ・事務局ともに支援の効果を確信しています。

≪てごうし隊(アウトリーチ)利用者アンケートより≫

・今回、初めてお弁当支援の声をかけてくださり、心のこもったお弁当の支援をしてくださりありがとうございました。見た時、沢山の品数、豪華すぎて、とてもびっくりしました。色んな方の想いが詰まっていると、胸が熱く涙が出て…感謝でしかありません。娘と美味しく、ありがたく分けて頂きました。色んな方のおかげで、命を繋ぐことができました。本当にありがとうございました。お弁当、とても美味しかったです。

・あまり悩みを口にすることもなく、ただ誤魔化すことしか出来なかったのでメールで話すことが出来て少しすっきりしました。いつも送っているメールをしっかり読んでくださっている人がいるんだと知って嬉しかったです。

・最近の様子など聞いて下さり嬉しかったです(*´ω`*)体調面も心配して下さり毎日家族以外と話すこともあまり無いので悩みを聞いて下さったり助かります。訪問して下さるのはとても有難いです!!

・お弁当支援、ありがとうございました。材料内訳、作ってくださった方々の写真等が載っていて、皆さんに助けられ、今日も生きていけた。と感謝の気持でいっぱいでした。お弁当の、具材、量もとてもバランス良く、しっかり入っていたので、2 日に分けて大事に食べました。 旬の果物、とてもうれしく、子どもは、一番に全部食べてました。 カボチャのサラダ、初めて食べたけどとても美味しかったです。気持ちのこもったお弁当、本当にありがとうございました。

柱 7．広報・啓発事業

【①実施した事業の状況：成果】 本事業を担う支援員（もこママ・専門員）およびボランティアの資質向上と連帯感の醸成を図りました。 外部の専門家を招聘した高度な研修会を通じて、DV、居住支援、共同親権、子どもの人権といった多角的な視点を養い、現場での実践力と支援員自身のエンパワメントを同時に実現。これにより、地域で活動を応援する層を広げるとともに、支援の質を均一かつ高水準に保つ体制を構築しました。

【②活動実施日時・場所・回数】

- **日時：** 毎月第 2 木曜日（専門員研修）、および年 4 回の特別研修会
- **場所：** オンライン（Zoom）、当法人事務所、各研修会場
- **回数：** 合計 16 回（専門員研修 12 回、エンパワメント研修 4 回）

【③対象者・延べ人数・実人数】

- **対象者：** 支援員（もこママ）、ボランティア、支援関係者
- **延べ人数 / 実人数：** (1) 専門員研修：71 人 / 6 人
  (2) エンパワメント研修：31 人 / 13 人

専門員同士が定例的に情報を共有し、困難事例の検証や知見の交換を行うことで、孤立しがちな対人援助職としてのセルフケアとスキルアップを両立できました。 また、中島幸子氏や葛西リサ氏、岡村晴美氏といった各分野の第一人者を招いた研修には、ボランティアスタッフも参加。組織全体で「今、現場で何が起きているのか」「支援の最前線はどうあるべきか」という共通認識を深めたことで、ボランティアから実務スタッフへのステップアップを促すなど、人材育成面でも大きな成果がありました。ホームページの充実により、不登校支援などの情報アクセス性も向上し、地域社会への啓発活動も着実に前進しています。

「DV 被害母子・ひとり親家庭と子ども・若者のための生きる力応援」事業のまとめ

事業の成果

本事業はジェンダーの視点と DV 支援の知見を活かし、生活困窮家庭や不登校の母子へ包括的な支援を届けました。食料・居住支援を入口に、アウトリーチや家計管理、託児を伴う相談を重ねることで、孤立していた親子の安心と自立を支えました。また不登校児の学校出席扱いの実現や、専門家研修による支援の質向上も果たしました。困難に寄り添い続けた結果、当事者の自己肯定感を高め、回復とエンパワメントを実現したことが大きな成果です。

事業推進姿勢

当事者の意向に寄りそい、柔軟に対応し、必要な方にはすべて託児を用意して、当事者が自身の問題に十分に向き合得るよう取り組みました。また、研修を通じて、スタッフ全員で、DV やジェンダーの問題に取り組むことができました。

事業実施体制

団体内部の情報共有を月 1 回実施することで円滑に事業を実施することができました。また、助成事業としての実施以外にも、毎月 1 回中心メンバーが集まり、推進体制などについて検討したり、助成事業以外に、毎月 2 つの研修会を実施してきました。しんぐるまざぁずフェスタに感じては、実行委員会を 3 回もち、ボランティアを集めて心構えも含めた実施準備ができました。

連携体制

映画上映会や人権講演会を通じて、連携団体を求め、つながることができました。共通の目的を確認し合うことで今後の連携にもつながっています。相談や同行支援については、連携先を広げることで支援が有効になるにとどまらず、当事者にとって「支援してくれる人・機関」があるとエンパワメントにつながるようにしました。私たちの活動が周知されることで、問い合わせや依頼も増えています。

今後の改善点

スタッフが増えていくよう、まずはボランティアから入っていただき、それが実践に繋がっていくようにスタッフを支援できる体制作りを工夫したい。また、養成したスタッフについては十分な人件費の支払いができるよう財源を確保していきたい。企業からの寄付が集まるよう、HP を充実させ、行政との連携も進めていきたい。

アウトプット(事業実績)

一部、定量指標に到達しない活動もありました。目標が漠然とした相談支援やカウンセリングなどは、多ければいいというものでもなく、当事者にとって必要な支援を十分に行えることが重要だと考えています。しかし、こども食堂やフードドライブの支援数は、予定数を上回りました。すべての当事者に答えられていないことが自己評価の減点です。

アウトカム(直接的効果)

FP の就労相談から自分に合った働き方を見つけて就労につながりました。

整理収納の支援を通じて、家の中にあるものを片付けることだけでなく、心の中にある不要なものを整理することもでき、自分自身のトラウマに向き合うことができるようになり、母子の関係回復や心の回復につながりました。

DV 被害者の保護に関しては、暴力的だった子どもが穏やかになり笑顔のあふれる家庭になったり、夜中にうなされていた幼児が夢の中で笑っていたりするようになりました。暴力から離れるだけではなく、スタッフとの信頼関係を通じて、一つ一つ問題を自身が決めて解決することができることやスタッフが母に対する尊重の態度が家族支援につながっています。

しんぐるまざぁずカフェでは、ママだけではなく、子どもたちも「自分だけではなかったんだ」と気づく機会になり、それが自己肯定感を高めることにつながっています。

地域共生社会の実現に向けて

映画上映会や人権講演会での他団体との連携がありました。

フードドライブの活動に、子ども食堂団体であることを通じて社会福祉協議会から食品寄付をいただくことができました。

福山市が取り組んでいる SDG s プラットフォームの構築に関して掲載記事の取材に応じたり、プラットフォーム連携の依頼がありました。

シェルターの一時保護に関して、支援者調整会議を通じて、行政の各機関と連携し、自立に向けた取り組みを行うことができました。特に、市のＤＶ相談窓口とは、今年度になって急激に連携が進んでいく体制が進められています。

インパクト(社会的成果)

本助成事業以外にも様々な活動を行なってまいりました。地道に行政とのつながりを作り続けてきたことや、関係する行政の担当課の課長はじめ役職の方々が、これまでのこどもステーションの活動に理解を示してくれるようになりました。当法人としては希望を抱いているところです。助成事業の成果報告書を示すことで、ますますインパクトを与えていきたいと思います。県外から講演に招かれることも増えてきました。

今後の事業展開について

本事業で構築した「アウトリーチから自立支援までを一気通貫で行う支援モデル」を、地域の恒常的なセーフティネットへと発展させます。今後は、行政との連携をさらに深め、公的な委託事業への採択を目指すとともに、地元企業とのパートナーシップ強化による自主財源の確保に努めます。人材面では、専門研修を受けた「もこママ」の育成を継続し、当事者が支援側へと回るピアサポートの循環を促進します。これらにより、助成終了後も、ジェンダー視点に基づいた「誰も取り残さない支援」を継続・自立化させる計画です。

2025 年度　令和 6 年(補正予算)WAM　助成事業

～子どもたちの幸せと幸せな子育てを願って～

NPO 法人こどもステーション

〒720-2104
広島県福山市神辺町道上 2862-1
広島ガス東中国(株) ショールーム「ハートラボ」内
TEL&FAX　084－965－6625
MAIL　info@kodomostation.or.jp
HP　https://kodomostation.or.jp/